

議会だより

2006

3月定例会

H 18. 5. 1 発行

# かみかつ

豊かで 住みよい 町づくり

VoL.21

◆◆ 来年も元気で  
あいましょう **ご長寿おめでとう** ◆◆



## 目次

- 3月定例会 ..... 2～3
- 一般質問 ..... 4～8
- 研修報告 ..... 9～10
- 議会の動き ..... 11
- 写真で紹介まちのようす・編集後記... 12



月ヶ谷線 終点付近



月ヶ谷線 起点付近



チップ運搬車



グリーンシュレッダー

### 平成十八年上勝町議会

## 第一回臨時会

会期 一日  
開会 平成十八年一月三十日

### 物品購入契約の締結

●二酸化炭素排出抑制対策事業で、(有)イク工業より、TOKOグリーンシュレッダー(GS900C)一台を一千七百六十二万九千五百円で購入することになりました。

## 第二回定例会

会期 十四日  
開会 平成十八年三月十日  
閉会 平成十八年三月二十三日

## 二十一億五千万円

(平成十八年度当初予算)

## 一億四千九百六十万円

(二千九百九十二株)

●三月定例会は十日に開会、笠松町長より施政方針・提案理由説明の後、平成十八年度一般及び特別会計当初予算十件、改正条例六件、廃止条例一件、

### 当初予算

- 平成十八年度上勝町一般会計予算
- 平成十八年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計予算
- 平成十八年度上勝町介護保険特別会計予算
- 平成十八年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計予算
- 平成十八年度上勝町東地区簡易水道事業特別会計予算
- 平成十八年度上勝町西地区簡易水道事業特別会計予算
- 平成十八年度上勝町いきゅう地区簡易水道事業特別会計予算
- 平成十八年度上勝町奨学資金特別会計予算
- 平成十八年度上勝町老人保健事業特別会計予算

### 補正予算等

- 平成十七年度上勝町一般会計補正予算(補正第六号)
- 三億四百三十三万六千円減額
- 平成十七年度上勝町いきゅう地区簡易水道事業特別会計補正予算(補正第三号)
- 一百万円減額
- 町道認定
- 喰田、舟井宅前から月ヶ谷までの間を、町道月ヶ谷線として認定しました。

平成十七年度一般及び特別会計補正予算二件、上勝町公の施設(二十一施設)の指定管理

●常勤の特別職の給与及び旅費支給に関する条例の一部を改正する条例  
今年度も給料(町長十%、助役五%)減額、期末手当も削減されました。

●職員給与が十八年四月から平均四・八%引き下げとなります。

●上勝町税条例の一部を改正する条例  
公益上その他の理由により町長が課税を不相当と認める固定資産税に対しては、固定資産税を課さないことになりました。

●上勝町介護保険条例の一部を改正する条例  
介護保険料が十八年度から月額四千四百八十円(三百三十円アップ)となります。また、地方税法の改正により保険料が急激に上がる方については緩和措置が適用されます。

●上勝町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

### 改正条例

### 意見書

●道路整備の財源確保を求め意見書 採択

### 請願

●最低保障年金制度の創設を求め請願 不採択

●町の二十一の施設が平成十八年四月一日から三年間、次の団体等が指定管理者となります。

施設の名称	団体等の名称
上勝町自然教育センター(あさひ)	ハーモニーライフクラブ旭
上勝町滞在型農林業体験実習付帯施設(いききゅう茶屋)	いききゅう茶屋管理運営協議会
上勝町産業会館(旧庁舎)	上勝町商工会
上勝町コインランドリー施設	社会福祉法人上勝町社会福祉協議会
彩保育園	社会福祉法人彩福祉会
上勝町デイサービスセンター	社会福祉法人健祥会
上勝町在宅介護支援センター	社会福祉法人健祥会
上勝町農林産業施設(上勝バイオ)	㈱上勝バイオ
上勝町特用林産物栽培施設等(庵ノ谷団地、中山団地)	㈱上勝バイオ
上勝町木材製品出荷調整施設	㈱もくさん
上勝町農産物加工施設(旭)	彩食品グループ
上勝町滞在型農林業体験実習拠点施設(コテージ)	㈱かみかついききゅう
月ヶ谷温泉村キャンプ場	㈱かみかついききゅう
南岡地区簡易給水施設	南岡地区簡易給水施設管理組合
日浦地区簡易給水施設	日浦地区簡易給水施設管理組合
檜原地区簡易給水施設	檜原地区簡易給水施設管理組合
上勝町福川集会所	福川名
上勝町柳谷集会所	柳谷名
上勝町老人憩の家 大杉荘	野尻名
婦人・若者等活動促進施設(市宇集会所)	市宇婦人活動センター管理運営委員会
上勝町介護予防活動センター(ひだまり)	特定非営利活動法人ゼロ・ウェストアカデミー



上勝町大字福原字古川2番地 仁田宗男(61歳)

### 人権擁護委員推薦に

同意しました(敬称略)

# 一般質問



明本 恵一 議員

## 情報基盤整備の問題点

**問** 十二月議会ではモデル事業だから放送、通信の選択肢ができないと答弁された。地域の実情にに応じて、変えてはいけないのか。

**答** 町長 勝浦町・県と協議し、良いモデルをめざす。放送だけの加入はできない、モデルでない。

**問** 締切りは十二月三十一日であったが、今なお申込させている。本当の締切日は。

**答** 町長 ぎりぎり延ばして十八年三月三十一日とした。

**問** 引込み及び宅内工事は個人負担だ。有利な契約をする権利を認めるべきではないか。

## 町長の政治姿勢を問う

**答** 町長 一般的には町が口を挟むべきではない。しかし、高齢者が多く、交渉能力など考え安くできるよう決めた。

**問** 光電変換器など、いわゆる四点セット単価はいくらか。

**答** 町長 定価ベースで次の通りだ。

光電変換器	107,000円
ターミナルアダプタ(Voip)	14,800円
STB(セット、トップ、ボックス)	55,000円
電話機	4,250円
計	181,050円
税込み	190,103円



光ファイバーケーブル工事状況

**問** 光ファイバー等、公の施設使用料を加入者に還元すれば利用料の引下げができるのではないか。

**答** 町長 IRUによる使用料は、町の財産を長期安定的に利用するため必要な経費に当てる。

**問** 老人ホーム跡地利用

ホームの跡地は、認知症予防グループホームを考へては。

**答** 町長 グループホームにすれば、スタッフが必要で民営化の効果が失われる。若者定住関連の施設としたい。

## 乳幼児医療費無料化について

**問** 県は七歳未満児まで無料化した。上勝町は特色をだして、小学校卒業時まで、窓口で無料化してはどうか。

**答** 町長 十月一日から七歳未満児まで無料化する。(二年延長) 将来のことは前向きに検討したい。

## 町長の政治姿勢について

**問** 指定金融機関問題でJAに戻すよう請願書が出された。議会は全会一致採択した。その後、町長は全員協議会に突如「現状の徳銀でいく」方針を示し了解を求めた。採決され「町長方針に反対」が多数で町長の案は否定された。町長の二度にわたる議会無視に猛省を求め。お考えは。

**答** 町長 議会の意向は真摯に受け止め、苦慮した。JAでは第三セクターの支援(借入金)が得られない。一年間の期限で徳銀にした。



阪松 明義 議員

## いっきゅう簡水について

**問** 平成十五年に始まったいっきゅう簡水工事も十七年に終わり、各戸へのメーター設置はいつごろか。

**答** 建設課長 十七年度でほとんど終わり二月下旬より管水路、ろ過池等へ水の充てん、通水作業も終わり、消火栓等を利用して管水路の洗浄作業を行い三月末に完了予定です。四月から減圧弁電気器具等調整をいたしまして、塩素濃度等の調整も行い四月末に通水試験がほぼ完了いたしますと水質検査等を行います、検査試験等は五月末をめどに終了する予定です。

指定業者はメーターから各家への宅内配管は家の中の配管です。メーターから個々の家の中の配管は指定業者とい

# 一般質問

うことです。メーターは町の方で購入しています。メーター自体は簡単に取付けできるが宅内配管になりますと期間がかかる。これは各家庭により違いますのでメーターだけ考えますと手間はかからない。ただ単にメーターだけの取りつけはどなたでもできます。宅内配管については多少期間がかかるということです。

**問** 各戸へのメーター設置について。

**答** 建設課長 各戸へのメーター設置は今の予定では六月一日から一カ月を予定している。

**問** 供用開始はいつごろか。

**答** 建設課長 供用開始は一応八月一日を目標に作業を進めていきたい。

**問** 供給人数が増えても余水があるか。

**答** 建設課長 給水人口が増えなくても余水があるかとのことですが、計画水量、これは一日当たり二百四トンで条例等にも記載してあります。給水人口も三百九十五人で設定しております。この三百九十五人という数字で水道水だけを基本に置きますと一日九十八トンという数字がでます。ですから水道水だけを基本に考えますと十分に余水というか余力はあると考えています。

**問** 工事費総額はいくらか。

**答** 建設課長 総額につきましては約五億八千万円ということです。



いっきゅう簡水ろ過水槽(八重地) 5×22×4M

# 一般質問



西浦光信 議員

千年の森ふれあい館は避難場所としては不適當か

**問** 千年の森ふれあい館災害時の避難場所として周辺より要望があるが、避難場所として使用できないか。

**答** 町長 県の施設であり県と協議した内容については、構造上の問題として床は板間であり、宿泊等には不向きであります。管理についても全館セコムに入れており、一般の使用となれば施設の必要もあります。大災害は別として通常の台風等事前に避難できることについては、体育館、基幹集落センターのほうが適當と思いますが、地元の人と良く話しあい良い結果を出したい。

# 医師の確保について

## 医師確保について

**問** 全国的に医師不足が問題になってきている。町長も医師確保に奔走されていたようだったが、本町の状況は、

**答** 町長 十八年度の医師確保については可能な限り努力したつもりだ。常勤医師は一人になったが、医療センターから一週間に四回医師の派遣があるので昨年程度の診療はできると思う。

**問** 火災予防条例の一部改正により火災報知器の設置が義務づけられたが、一人暮らしのお年寄りや、身体障害者に補助すること昨年九月、定例会で決まった。どの程度の申し込みがあったか。

**答** 住民課長 六十九台で全台補助もれはありません。

**問** 昨年の夏以降本町に三台のAEDの導入があった。定期的なことあることに講習はされていると思うが、職員への訓練はされているか。

**答** 町長 年度後半期にソフト事業が重なり、住民皆様に申し訳なく又もったいなく思う。参加者は町民百八十二名町外三十七名であった。

## 福祉バスの利用について

**問** 十年前と比較したら利用度の違いは。

**答** 町長 バス利用は十年前とかわりない。農業視察はここ二三年三回、産業視察は一、二回である。

## 町表彰について

**問** 今年度ゴミゼロに関する寄付はありましたか？

**答** 町長 一団団で五万一千六十二円である。

## 遊休施設について

**問** 現在、土地、建物でどれくらいあるのか。対策、対応は。

**答** 総務課長 利活用できる施設として旧第二診

**答** 住民課長 職員にたいしては診療所医師、看護師の指導を頂き実施する計画であります。

## 環境美化の一環として

**問** 廃棄自動車の撤去業務を実施された。何台の車処理されましたか。

**答** 産業課長 合計五十台  
内大型バス 二台  
普通車 六台  
軽自動車 四十二台

**問** 孟宗竹の繁茂が激しい対策はないのか。

**答** 産業課長 薬剤によるものがあるが、竹だけでなく周辺の作物にも影響がある。抑制期間も三年程度である。原材料としては竹炭等があるが販売ルート等研究の余地がある、製造方法についても技術的に難しく今後研究の余地がある。

療所、上勝公民館、旧福原小学校体育館、旧上勝西給食センター、旧福原駐在所、今後については老人ホーム、町の建物ではないが借りている建物として、旧上勝歯科がある耐用年数を考え利活用を検討したい。

## 中山間農業振興大会より

**問** ワーキングホリデー制度の違いについて。

**答** 産業課長 宮崎県の西米良型と長野県の飯田型があり、時間給を支払い、公営宿舎で泊まる西米良型よりも、農家に泊まって交流出来る飯田型が上勝のリーダー増にもつながると思う。

**問** 温泉施設の浴場掃除を、若人で夕風呂会、老人で朝風呂会と入浴と仕事と交換し、コストダウンについて講演があったが？

**答** 産業課長 参加者の時間帯と毎日の事でもあり、いっきゅう取締役に提案し検討したい。

# 二千五十年に三百六十八人？



藤田欣宏 議員

## 町づくり振興大会をふり返って

**問** 二千五十年で上勝町民が三百六十八人と推計されているが、百年の計を立てる行政策は？

**答** 町長 昔と比べ十年が一年位のスピードで変わっている。平成十三年に上勝町活性化振興計画を作成した。二十一世紀は環境の世紀である。環境倫理にもとづく将来世代の公平性、生物と人間の共生、安定した経済と雇用、情報発進と直接交流等掲げ、首長又議員が変わっても将来の目標に着実に進むことが必要である。次代を担う若者定住は最も重要な施策である。

**問** 1Q運動会の活動報告にもとづいて表彰式があったが全体会、又職員1Q塾の活動報告がなかったが？

**答** 町長 五地区の活動報告をいただき互いに切磋琢磨していただいた。残念

ながら職員1Q塾はできていない。

**問** 大阪外国語大の学生による上勝町調査報告があったがどう活用しますか？

**答** 町長 いろいろ率直に提言をいただいた。反省点も含め真摯に受けとめたい。

## ゼロ・ウェイストセミナーから

**問** 昨年十一月二十

六日から今年二月二十八日まで五回の講演会、勉強会を催されたが町外の人が多いような時もあったかと思うが現実はどうでしょうか？

躍進する上勝を望む



# 一般質問

# 一般質問



岡本 力 議員

## 県道改良等について

### 旭地域に若者住宅を！

**問** 五カ年計画で正木地区と旭地区に若者住宅を計画されている。正木地区と同時に旭地区の用地取得される考えはないか。

**答** 町長 用地関係者、周辺の皆さんの御理解と協力がもたらされて来ます。話ができれば先行投資をしていきたいと考えています。

**答** 町長 一・五車線化できるところから改良に務めてまいります。

**答** 建設課長 用地については十二年度から着手住宅含め三件、補償用地含め四件目の用地協力をお願いしている。十八年度に家屋調査をしており取得できないかと思っている。今後改良の工事に着手するよう県に要望している。

ても県民ニーズに「飯泉知事」試みとして予算化された。

以上のお案に上勝町として手をあげるお考えはないか。

**答** 町長 特別枠の確保については最大限の努力をする。那賀町長さん、木沢の方々と相談して共に努力をしてみたい。

### 飲料水について

**問** 町内全般に水道施設が完備しつつあります。補助事業に恵まれない世帯に予算はつけられないか。

**答** 建設課長 昭和五十七年から平成九年小規模簡易給水施設補助があった。平成十年から休止の状態。十八年四月一日より補助金の交

### 県道徳島―上那賀線について

**問** 下管蔵―市宇工区用地買収等進展しているか。上流域の一・五車線化の経過は進展しているか。

**問** 県の予算案では、特別枠「ローカルルールモデル事業」二車線化が進まない中山間地の道路で以前から進んでいる待避所整備による一・五車線化に加え「対向車接近システム」を導入「一・五車線でも二車線と同じ効果発現される工夫。お金がなく



早春の人工棚田（八重地）

### 千年の森登山道について

**問** 八重地八幡神社より日本初の自然を残した棚田、ほ場整備を見学しながらの登山道整備について県の関係機関に働きかけできないか。建設課長 当初の事業計画であったが、協議の結果、古屋敷林道から千年の森までの協力林内を通る車を優先実施したためできていないとのこと。今後調査検討し県に要望していきたい。

付要領を再度見直し給水施設のない地域に施設の充実を促していた。基準もあるが三カ年限定である。

## 議会運営委員会視察報告

期日 平成十八年一月二十五日  
場所 奈良県山添村（やまぞえむら）  
参加者 美木委員長・岡本副委員長・西浦議員  
阪松議員・多田議長・議会事務局長

### 山添村

奈良県の東北端にあり人口四千九百余名、面積六十六平方キロ、約六十五％が山林、六十五歳以上が三十七％の中山間地である。窪田村長、菊田議長等より研修を受ける。議員定数は平成十七年より十名（以前は十四名）。議会運営委員会はないが、正副議長各常任委員長計四名で対応している。常任委員会は総務と文教厚生。むらづくり特別委員会がある。一般質問十二月は四名で質問時間制限はないが、一人一時間以内である。再質問は一回。予算については、所管の常任委員会に付託。その後全員協議会、本会議の順となる。議会だよりは村広報で対応している。町村合併については、平成十五年住民投票により約五十五％が合併協議をしない結果となり、これをうけて九月定例議会でも合併しないことを決定した。争点は、合併後の将来像、住民負担、住

民サービス、議員数等であった。隣村の都祁村（つげむら）月ヶ瀬村は奈良市と合併する。しかし山添村は七十億円の起債があり基金残高は十五億円である。今後行財政改革として職員の減、小学校統合、保育園の統合、役場公民館、出張所、診療所の機構改革。公共交通体系のみなおし等問題山積である。（美木）



議会運営委員会視察報告

期日 平成十八年一月二十六日  
 場所 奈良県野迫川村（のせがわむら）  
 参加者 美木委員長・岡本副委員長・西浦議員  
 阪松議員・多田議長・議会事務局長



野迫川村は奈良県西南部紀伊山地の北斜面で山林が多く、急峻な地形に集落が点在する小村である。高野山の下の村と言った方がわかりやすいと思います。

人口、七百八十三人、面積、百五十五・〇三平方キロ、高齢者比率、三十五・四％。野迫川村は積雪が多く除雪費用が年間六千万円、十二月・二月は冬眠状態であるとのことでした。

昭和四十年代には凍豆腐を製造していた、当時は人口三千五百人位いた。夏は薪をつくり生活していたが、冷凍機が発達し衰退する。現在は産業がない。人口減がにつき、

合併も考えたが十三町村では広すぎてまとまらない。本村は和歌山県高野町と関係が深い。ゴミ・消防は高野町に依頼している。明治時代からの高野豆腐伝承館をつくり、世界遺産登録後、民宿・ホテルが活況する。観光に力を入れる。

野迫川村マルチメディアビレッジ事業は、村内の全世帯にテレビ電話を配備し、テレビ会議

VODシステム、遠隔医療システム等に使用できるが、テレビ電話は実際あまりつかわれていない。使用料、月一千元を村が負担している。又、議員定数は平成十一年から、人口減で八名、議員が自主的に決める。議員報酬は三回下げる。職員数、三十五名の給与は平成十七年四月から、

(阪松)



議会の動き

1月

- 2日 上勝町成人式
- 4日 上勝町消防団出初式
- 6日 議会広報調査特別委員会  
徳島駅伝選手解団式 (勝浦町)
- 11日 産業建設常任委員会
- 13日 議会広報調査特別委員会  
神山町議会議長来庁
- 16日 芸術文化協会新年互礼会
- 17日 議会全員協議会  
議会運営委員会
- 18日 議会広報調査特別委員会
- 22日 人権・同和・環境対策推進議員連絡協議会と県選  
出国議員、市町村長、議長との対話会(徳島市)
- 24日 議会広報調査特別委員会
- 25日・26日 議会運営委員会視察研修 (奈良県野迫川村他)
- 27日 例月出納検査・定例監査
- 30日 第1回臨時会  
議会運営委員会

2月

- 1日 徳島県合併推進審議会 (徳島市)
- 2日 徳島県町村議会議長会理事会 (徳島市)
- 3日 勝名監査委員定期総会研修会 (徳島市)
- 4日 男女共同参画に係る研修会 (徳島市)
- 8日・9日 全国町村議会議長会総会他 (東京都)  
勝名地区町村議会議員研修会 (石井町)
- 11日 町制50周年記念 まちづくり振興大会
- 12日 井川町閉町式 (井川町)
- 14日 県知事へ陳情 (徳島市)  
徳島県町村監査委員協議会総会 (徳島市)  
市町村トップセミナー (徳島市)
- 17日・18日 全国過疎地域自立促進連盟理事会 (福岡市)
- 20日 兵庫県市川町議会来庁
- 21日 徳島県町村議会議長会定期総会・自治功労者表彰式(徳島市)  
勝名議長会定期総会 (徳島市)  
徳島県町村会自治功労者表彰式 (徳島市)
- 23日 例月出納検査・定例監査
- 27日

3月

- 1日 上勝町行政改革推進委員会
- 3日 議会運営委員会
- 7日 議会全員協議会
- 9日 国保運営委員会
- 10日 第2回定例会 第1日  
議会広報調査特別委員会
- 11日 上勝中学校卒業式
- 13日 議会勉強会  
議会運営委員会
- 14日 議会全員協議会  
総務常任委員会
- 16日 上勝小学校卒業式
- 17日 上勝幼稚園卒園式  
上勝町高齢者教室閉講式
- 20日 第2回定例会 第2日  
産業建設常任委員会
- 22日 第2回定例会 第3日  
議会運営委員会  
議会広報調査特別委員会  
上勝中学校先生送別会
- 23日 上勝町表彰式  
議会定例会 第4日  
議会全員協議会
- 24日 上勝小学校先生送別会
- 27日 徳島県市町村振興協会理事会 (徳島市)
- 28日 例月出納検査・定例監査 (徳島市)
- 29日 四国地区町村議会議長会会長会 (小松島市)
- 31日 小松島市他三町村衛生組合議会  
社会福祉協議会理事評議員会



石井中央公民館



勝名地区町村議会議員研修会 (石井ドーム)



コミュニティセンター



バイオマス講演会 (福原ふれあいセンター)

# 写真で紹介 まちのようす



森林機械講習会（福原）



六十ブ地区耕地地すべり（正木・杉谷）



治山事業（八重地）



神明橋 修復工事



災害復旧工事（福川）



落合橋 修復工事

夏も近づく 八十八夜  
野にも山にも 若葉がしげる  
童謡の一部ですが、本町にも  
鯉のぼりが元気に泳いでいる季  
節です。三月議会で予算を可決  
し、十八年度がスタートしまし  
た。本年から国民文化祭、日本  
文化デザイン会議のプレイベ  
ントが始まります。新しい試みを  
どう活かすか、町民の皆様の御  
支援をよろしく願います。  
(阪松)

## 編集後記



広域農道（一工区）谷内橋